

福祉・介護人材の確保のため道が2年前から開き、十勝では初開催。とかちプラザ1階アトリウムに管内各施設などが就職相談ブース、帯広大谷短大、帯広コア学園、江陵高校の3校が進学相談ブースを設けた。看護師志望の清水高校3年塩谷一徹君は「将来は医療か福祉で働きたい」と

各施設長に面談して仕事の内容などを熱心に聞いていた。午後からは乙武洋匡さんの特別講演なども開かれた。また会場では社協フェスタ&わいわいタウン帯広2011（実行委主催）も併催、ボランティア団体の活動紹介などが行われた。（横田光俊）

ブック「躍進満州概観」（1941年）をはじめ、同館が所蔵する旧満州国時代の希少な書籍に触れるきっかけになればと、勝山准教授は高校の世界史で学ぶ基礎知識などを解説した。

写真や映像分かりやすく

東北大 大学院 勝山准教授が中国史解説

帯広市図書館

同館での勝山准教授の講演会は3回目。約60人の市民が参加した。旧満州国のガイド

勝山准教授は2002～03年に文部科学省在外研究員として北京大学に派遣。滞在中に訪れた万里の長城や旧満州国の首都・長春（新京）に残る当時の建物の写真をスライドで紹介し、「旧満州国の遺構は当時の日本の建築物と似ており、日本と密接に関わっていたことが分かる」と述べた。（深津慶太）

帯広市図書館の夕涼み講演会「中国歴史紀行 くはるかなる歴史の舞台をさぐる」が20日午後6時半から、同館多目的視聴覚室で開かれた。

幕別町出身で東北大学大学院国際文化研究科の勝山稔准教授（中国文学・中国史学）が中国の歴史・史跡を写真や映像を使って分かりやすく講演した。



北京周辺の史跡や旧満州国の歴史を解説した勝山准教授